

あけましておめでとうございます。

卵を1円でも高く売

ります。当たり1億数千万円にな

る、工サを1円でも安く

買う、昔から変わらぬ養

鶏の基本、養鶏第1の利

益です。

約30年前から採卵農場のオートメ化、大型化が進展し、それまでになかった「養鶏第2の利益」の可能性が生まれまし

た。手集卵、配餌車の人力養鶏では、1人当たり5000個の生産が精一杯でしたが、最先端の設備、コンピュータを駆使した最新施設では、1人当たり10万個以上を生産する精密養鶏が可能になりました。

農場破卵を2%減らせば、20年間で羽当たり数百円の収益となり、先進の換気システムを導入し、10月から3月までの冬期舎内温度を、舎内環境を悪化させることなく4度C高く維持できれば同じく羽当たり数百円の収益を上げることができます。

農場の大型化に伴い、鶏糞の円滑な処理、望むらしくは収益化が、これらの農場更新の要諦であり、その第一歩として、鶏舎内の予備乾燥は必須です。これにかかる電気代は、ウインドレス鶏舎全体の電気代の中で最大であり、システムにより羽当たり数百円の差が出てきます。

この3つの「養鶏第2の利益」は、20年間で羽



養鶏第3の利益

安田 勝彦
代表取締役社長
ハイテム株式会社

世界人口の6割を占めるアジアでは、日本、韓国がEFAで先行する中、中国、東南アジア、インド地区の3か国（バングラデシュ、パキスタン、インド）が、EFA進展の黎明期にあります。「設計開発・品質管理は日本本社」「プラットフォームのパワーを発揮し、わが国の実績を背景に、アジアにおける養鶏第2の利益」、さらにEFAメンテナンスに係る「養鶏第3の利益」の最大化にも取り組んでいく所存です。

農場設備のメンテナンス力が重要になり、養鶏の一部となるの自主メンテナンスをサポート、④年中無休の電話当番制（午前8時30分から午後の時）、⑤メンテナンス動画（スマホ等で閲覧可能）等、養鶏第2の利益の最大化に加え、ハイテムではこの養鶏第3の利益の最大化へ大化を目指し、アフター

鶏鳴新聞

2021.01.15

当たり千数百円、10万羽の注力を始めています。サービスの充実に努力を

続けています。

農場での飼育管理の優劣による収益差も、養鶏

（電気関係の実用基礎知識、機械基礎知識を稼働間、機械安定性の差から生ずる労務費の差、設備費の差、換気、ファームの研修）、②初期点検（稼働開始1年後を自途コンピュータ活用による精密飼育管理等から生ずるわずかな産卵率の差から生まれる、さらに3つ

の「養鶏第2の利益」を加えると、内部設備選定による収益差は、羽当たり3000円を超えて、10万羽当たり3億円を超える可能性があります。

生き残りをかけた農場間の競争は、数学の世界

ます。利益額ではありますが、メンテナンスによる利益額が重要になりますが、メンテナンスにつある点に、変わりはないと思います。

養鶏第1の利益と、飼育管理に係る養鶏第3の利益は、ユーチャーの皆様方の守備範囲ですが、皆様方の養鶏第2の利益と、メンテナンスに係る養鶏第3の利益については、EFAのメーカーとして、最大化に向け全社を挙げて尽力してまいります。

世界人口の6割を占めるアジアでは、日本、韓国がEFAで先行する中、中国、東南アジア、インド地区の3か国（バングラデシュ、パキスタン、インド）が、EFA進展の黎明期にあります。「設計開発・品質管理は日本本社」「プラットフォームのパワーを発揮し、わが国の実績を背景に、アジアにおける養鶏第2の利益」、さらにEFAメンテナンスに係る「養鶏第3の利益」の最大化にも取り組んでいく所存です。

ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。（岐阜県各務原市テクノプラザ2F10）